

2015年4月1日
46号

かけはし

ひたちなか総合病院広報誌

発行所 株式会社製作所ひたちなか総合病院
〒312-0057
ひたちなか市石川町20番1
TEL 029(354)5111
発行人 飯嶋和秀
編集 広報委員会
<http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html>

【ひたちなか総合病院理念】

「地域を護る病院」として説明責任を基本とした最新の技術とサービスを提供し患者さんが納得・満足される医療を遂行する

【ひたちなか総合病院基本方針】

「地域の皆さまの信頼と満足が私たちの生きがいです」のもとに、①急性期から回復期までの一貫した医療を充実させて地域完結型医療を推進する②教育・研修を充実させて最新の医療技術を確立し、職員満足を向上する③説明責任と最良のサービスを遂行し、患者満足を向上する④質を基盤とした総合的医療の質経営を実施し、持続成長可能な病院にする を実践する。

ごあいさつ



院長 永井庸次

早いもので、徐々に春めいた季節になり、本号が出る頃には4月の桜の季節になっていることと思います。昔は桜も院内外に多く見かけられ、

私たちの目を楽しませてくれましたが、当院のリニューアルを含め、この数年周囲も大幅に様変わりし、少し寂しい気がするの私だけでしょうか。昨年は正面玄関に紅枝垂桜を、本年は大島桜、こぶし、唐楓を植えさせていただきました。時とともに皆様方の目を楽しませるような病院環境が育ってくれば良いと思っております。

当院も4月に医師の異動があり、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科などの医師や筑波大学からの派遣医師に変更がございます。また、今年度は在宅（訪問診療）専従医と産婦人科医を1名ずつ常勤医として採用することができました。もちろん、4月から大々的に往診・訪問診療・訪問看護、産科医療が実施できるわけではありませんが、「地域を護る病院」の一環としての今後の展開を是非見守っていただきたいと思っております。

昨年は医療法の改正を含む医療・介護総合確保推進法が成立し、昨年10月には当院も病床機能内訳を報告いたしました。簡単に言いますと、当院の302床のうち、高度急性期（2対1や4対1という2～4名の患者さんに1名の看護師配置でICUやHCUなど重症な患者さんを診るベッド）、急性期（一般的には7対1という看護師配置で急性期の患者さんを診るベッド）、回復期（13対1という看護師配置で主にリハビリ患者さんを診るベッド）に何床ずつ充てるかを国に申請しました。この制度

では毎年秋に申告しますので、二次医療圏（常陸太田からひたちなかにかけての医療圏）で、将来的にどの程度の高度急性期、急性期、回復期、さらに慢性期のベッドが存在し、どの程度の患者さんが入院しているのか、すなわちその地域の医療需要を把握できるようになります。そして、医療需要に合わせて県知事の指示・要請でベッドの配分を適正化できる仕組みが10年ぐらいのスパンで構築されます。これが地域医療構想（ビジョン）であり、県による医療計画の構築ということです。

ここで問題なのはその地域の考え方です。ひたちなか市では現在40%前後の方が水戸市の病院等に入院されています。これは主に高度急性期・急性期の患者さんですが、この流出患者さんのベッドはそのまま入院されている地域の必要ベッドとみなされます。ざっくり言えば、この地域のベッド数は実際の患者さんの60%前後で良いという計算になる可能性があります。患者さんが流出している現状をよしと考えるか、それとも市民のために改善を図るのか、改善するにしてもどの程度の改善が理想的なのか、今後高齢化がさらに進んだ時、30分から1時間もかけて他地域に通院・入院されることは可能か、それとも高齢化社会では地元の身近な病院で通院・入院することを選択するか、まさに、私どもも将来に向けたベッド数に関して現在の302床で良いかどうか考えている最中ではありますが、そろそろ真剣に、皆様方、行政、医師会等と検討する時期に来ていると私は思っています。

最後に、先日厚労省の審議会で当院のがん診療連携拠点病院の申請が県からなされ、無事通過いたしました。未だ正式な認可通知はまいませんが、4月からはこの地域のがん診療連携拠点病院として新たな一歩を踏み出していきたいと考えておりますので、今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。

ひたちなか総合病院・総合健診センター休日のお知らせ

	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	④							①	②								
4	⑤	6	7	8	9	10	⑪	5	③	④	⑤	⑥	7	8	⑨	6	⑦	8	9	10	11	12	⑬
月	⑫	13	14	15	16	17	⑱	月	⑩	11	12	13	14	15	⑯	月	⑭	15	16	17	18	19	⑳
	⑲	20	21	22	23	24	⑳		⑰	18	19	20	21	22	㉓		㉑	22	23	24	25	26	㉗
	㉔	27	28	㉘	㉙	㉚			㉕	26	27	28	29	㉞		㉘	29	30					

■はひたちなか総合病院休日 ○は総合健診センター休日

7つの生活習慣

総合健診センター 保健師 山崎真由美

「ブレスローの7つの健康習慣」をご存じでしょうか？1973年にカリフォルニア大学のブレスロー博士が行った日常生活と健康に関する研究で、7つの健康習慣が健康度と有意に関連していることを発見しました。たった7つの生活習慣を守ることによって病気の予防・健康の保持増進になるのかと疑問に思われるかもしれませんが、ご自身がいくつ実践できているか見直してみましょう。

1. 適度な睡眠をとる
7～8時間が理想的です。また、就寝前にはなるべくテレビやパソコン・スマートフォンなどを見ないこと。睡眠の質の改善につながります。
2. 喫煙をしない
心臓病や脳梗塞、がんの予防につながります。また喫煙によるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）も近年増加しています。
3. 適正体重を維持する
肥満も問題ですが、若い時に無理なダイエットをして、やせ過ぎることも問題です。
4. 過度の飲酒をしない
内臓脂肪が増加し、高血圧・糖尿病・脂質異常症を引き起こします。
5. 定期的に運動をする
運動時間が確保できない場合は、通勤時にしっかり歩く、階段を使うなど日常生活での活動量を増やしましょう。
6. 朝食を毎日とる
夕食時間が遅い方は食事を少し減らして、朝食はしっかり食べてください。
7. 間食をしない
時々だったら楽しいおやつもいいでしょう。しかし「いつも」は問題です。
7つの生活習慣は、どれも特別なことではありませんが、わかっていてもなかなか実行できないこともあると思います。時々では日ごろの生活を振り返って、実践度を確認してみたいかがでしょうか。「できない」で終わらせず、ひとつでもできることから始めてみましょう。

医師異動の紹介

診療科	氏名	異動日
神経内科	山本 詞子	退職 (2015. 3. 31)
	吉田 和史	退職 (2015. 3. 31)
呼吸器内科	乾 年秀	採用 (2015. 4. 1)
	小泉 勇人	退職 (2015. 3. 31)
消化器内科	小松 義希	退職 (2015. 3. 31)
	曾野 浩治	採用 (2015. 4. 1)
	瀬山 侑亮	採用 (2015. 4. 1)
循環器内科	川松 直人	退職 (2015. 3. 31)
	中務 智文	採用 (2015. 4. 1)
耳鼻咽喉科	佐川 里恵子	退職 (2015. 3. 31)
	境 修平	採用 (2015. 4. 1)
整形外科	中村 聡	退職 (2015. 3. 31)
	岩 渕 翔	採用 (2015. 4. 1)
歯科口腔外科	高橋 幸伸	退職 (2015. 3. 31)
	持田 薫利	採用 (2015. 4. 1)
産婦人科	渡辺 博	採用 (2015. 4. 1)
水戸健康管理センター	山田 佳史	採用 (2015. 4. 1)
在宅医療推進センター	亀山 仁一	採用 (2015. 4. 1)
臨床研修医	泉 敬太	退職 (2015. 3. 31)
	高岡 賢	退職 (2015. 3. 31)
	渡部 晃平	退職 (2015. 3. 31)

「看護の日」イベント開催のお知らせ

1990年、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日が看護の日と制定されました。当院では、「皆様に気軽に看護にふれていただける行事を」と考え、毎年5月に看護の日のイベントを行っています。

今年は5月16日（土）13：00～、当院1階ロビーにおいて健康チェックや健康相談、バザー、ハンドマッサージ等を行います。他にも、楽しいイベントをたくさん企画していますので、皆様どうぞお立ち寄りください。

「国のがん診療連携拠点病院指定」記念 がん市民公開セミナー開催のお知らせ

当院が「国のがん診療連携拠点病院指定」を受けましたことを記念いたしまして、がん市民公開セミナーを開催いたします。是非多数のご参加をお願いいたします。

日 時：4月26日（日）午前10：00～12：00 参加費：無料

会 場：(株)日立製作所ひたちなか総合病院2階講堂

講演1：「がん総論」

放射線治療センター長 三橋 紀夫先生

講演2：「がん手術」

筑波大学附属病院

ひたちなか社会連携教育研究センター

センター長 寺島 秀夫先生

講演3：「がん化学療法」

筑波大学附属病院

ひたちなか社会連携教育研究センター

講師 間宮 孝先生

講演4：「がん放射線療法」

放射線治療センター長 三橋 紀夫先生

講演5：「がん緩和ケア」

緩和ケアセンター長 神賀 正博先生

講演6：「形成外科的サポート」

東京女子医科大学病院形成外科

主任教授 櫻井 裕之先生

（テーマは、都合により変更となる場合がありますのであらかじめご了承ください。）

お申込み・お問合せ：地域医療連携室 TEL 029-354-5202

診療科	氏名	異動日
臨床研修医	島崎 紘史郎	退職 (2015. 3. 31)
	田 沼 光三郎	退職 (2015. 3. 31)
	大 島 央 之	退職 (2015. 3. 31)
	松 村 裕	退職 (2015. 3. 31)
	施 恵子	退職 (2015. 3. 31)
	小 國 英 智	退職 (2015. 3. 31)
	横 倉 俊 也	退職 (2015. 3. 31)
	林 孝 典	退職 (2015. 3. 31)
	渡 邊 めぐみ	退職 (2015. 3. 31)
	磯 崎 大 寿	採用 (2015. 4. 1)
	中 泉 太 佑	採用 (2015. 4. 1)
	中 野 登和子	採用 (2015. 4. 1)
	人 見 真 衣	採用 (2015. 4. 1)
	松 尾 康 平	採用 (2015. 4. 1)
	持 田 弦	採用 (2015. 4. 1)
	王 新	採用 (2015. 4. 1)
	川 本 愛 実	採用 (2015. 4. 1)
	関 口 修 平	採用 (2015. 4. 1)
	山 本 隆 平	採用 (2015. 4. 1)
	佐々木 智美	採用 (2015. 4. 1)
安 藤 有佳里	採用 (2015. 4. 1)	
隈 本 朝 喜	採用 (2015. 4. 1)	